

手引き

# 目的や意図に応じて書く！ 課題作文編

## 一、『課題作文』って？

明確な目的や意図の基に課題される作文のことを課題作文といいます。課題を出す側とそれに取り組む側とは、目的や意図が対照的で、条件に応じて書くことが最優先される文章になります。課題によってはフィクションでもよく、かならずしも「自分の経験」を書く必要はありません。

例 「選抜試験 作文」や就職採用試験の場合、

雇用者の、学校の場合は学校の求める人物像にあっているかどうかを総合的に問うのが目的です。自分が求められる人物であることをPRできるような作文を、条件にぴったり合うように書きます。

## 二、『課題作文』を書くポイント

目的によって課題も様々です。課題作文は相手の意図をくみ取ることから始まります。相手の意図や課題の条件に合った文章を書きましょう。

- ・ 字数制限を守る。
- ・ 原稿用紙の書き方を守る。（数字は漢数字）
- ・ 文章の種類を守る。（意見、紹介、説明など）
- ・ 必要な要素はすべて書く。（根拠、具体例など）
- ・ 文体を統一する。（常体、敬体など）

## 三、いろいろな課題に挑戦しよう！

- ・ 集団生活で一番大切なことは何ですか？（意見）
- ・ あなたの長所や特技は何ですか？（PR）
- ・ 座右の銘を紹介してください。（紹介、説明）
- ・ 課題の短歌の鑑賞文を書きなさい。（鑑賞）
- ・ グラフや表の情報を根拠に考えを述べなさい。

理解の道すじ

### ステップ1

どんなものがあるの？

何のために書くの？

どんな事に気をつけて書けばいいの？

どんな力が必要なの？

### ステップ2

条件にぴったりの課題作文が書ける！

こんな力が必要です！

#### 《参考にしよう》

- ・ 課題設定力 「学習の手引き4」
- ・ 情報収集力 「学習の手引き5」
- ・ 「学習の手引き6」
- ・ 情報操作力 「学習プリント（読むこと）手引き」
- ・ 「要点まとめに強くなる」
- ・ 記述力 「学習プリント（読むこと）手引き」
- ・ 「表現の工夫に強くなる」
- ・ 推敲する力 「学習プリント（書くこと）手引き」
- ・ 「推敲に強くなる」